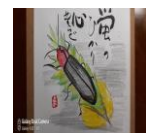




砂留文化を次世代へ繋ごう



2021(令和3)年2月25日 堂々川ホタル同好会情報紙 2020年度第10号 (創刊より194号)

1. 2月21日、5月を思わせるような堂々川で、会員16人が4つのグループに分かれ、それぞれ目標の達成に向け奮闘した。活動名「ホタルと花と砂留と」が輝くために。
2. 神辺図書館、福山市神辺庁舎で展示会が開催中、図書館ではラジオの取材もあった。
3. 堂々川6番砂留下方の枯れ松伐採、鳶が迫谷の不法投棄を拾い上げ、砂留の草刈り。
4. 5番砂留川原では猪から彼岸花を保護の為、ピンクリボンを張り防御テストを始めた
5. 1番砂留東の広場には福山市マチサポの小畑さん寄付のナツズイセン100球を植栽併せて川原の整備も実施。休憩時には初参加西村さんのスマホ教室で盛り上がった
6. 高校生3人組の参加も今回で区切りとして卒業になります。夏休みには来るとのこと



一番砂留東に集合の会員 16人



寄贈の夏水仙球根を植栽する会員



鳶ヶ迫砂留の草とり整備



猪対策ピンクのリボン設置



猪に掘り起こされた場の復元作業



2番砂留下方 溪谷の草刈り



御領山に春が来た赤ガエル産卵



御野小さんからの水車



福山市神辺庁舎で3団体の展示

(不要な水車は引き取ります。連絡を!) (神辺図書館では小鳥の巣が展示)

7. 次回定例会 時間場所 3月21日 8時30分 ごみ拾い

1番砂留東川原 彼岸花球根穴掘り 2500個 (彼岸花の里入口作り)

定例会はどなたでも参加できます。

参加者は名簿にお名前を記入してください。保険に入る為です。

8. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

ゴミのポイ捨て等やめて

私たち堂々川ホタル同好会は種々の施策を練り堂々川を起点に綺麗を目指しています。

○現在会員3人と近隣の数名が準定期的に川沿いのごみ拾いをされています。

○鳶が迫谷の不法投棄は、堂々川周辺に大量にしかも分散されて投棄されたもので、
他所の町内会の人と言うには「下下の企業らしいが証拠はないし時効であるらしい」

◎御野・中条小さんが花のプランターを近くの公共機関へ寄付。花一杯運動の実施



鳶が迫谷に10数年前の不法投棄品→電線被覆とジャンパー・ロープ

6番砂留が後方に見える斜面の枯松



伐採した松と卒業するなかよし3人

数日に1回拾っているのにまだ!

カラスが袋を破いて散乱

活動をはじめて16年目、昔のごみはほぼ無くなった。しかし最近では自動車部品、弁当の空き殻、お菓子の袋、たばこの吸い殻、不思議に女性の下着もある。御野駐在さんと巡視しながら対策を練っています。尚、ネット調査では不法投棄には時効はないらしい!
切り札の彼岸花も猪に1万球近くが日干しにされた。悲しいね!

堂々川彼岸花基金のご支援情報

募集中 代表 坂本迄

下記にお名前を掲載します(順不動、敬称略) 次回からは発行隔月掲載

丸山 孝志	故高橋 孝一	目崎 重幸	故武田 武美	向井 厚志
諏澤 竹人	渡邊 文夫	小島 八重	奥村 共栄	石口 和寛
櫻井 道雄	櫻井 幸子	中山 晋一	宮永 美恵	乗藤 守
高橋 和子	藤井 保夫	高野 孝行	諏澤 敏弘	三浦 典子
坂本 和子	内田 明博	山下しのぶ	桜田 美香	匿名希望2名

自然豊かな堂々川沿いで福山大学殿と共同で生き物観察の計画が浮上しています
福山市立大学も卒論テーマを検討中。

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒
アドレス dodogawa.com

